



自治体議員団
全国会議

2022年7月 No.2 1

発行人 檀上正光
編集人 山田 厚
(全国連合窓口 松本貴裕)

目次	檄	議長 檀上正光 . . . 1
	身近な総括をお願いします	幹事長 山田 厚 . . . 3

自治体議員団全国会議

2022年7月3日

議員各位

議長 檀上正光

檄

参議院選挙も終盤に入った。社民党の存亡をかけた戦いの先頭に立って、酷暑のなか日夜激闘されている議員各位に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

もう何年も実質賃金が上がらない、非正規雇用者が労働者の4割を超えた、1日に2、3か所も回って働かないと生活できない、結婚しても住宅

費や子育て・教育費にお金がかかる（少子化に拍車）、物価が上がっても年金支給は下がる、中小企業者もコロナ禍で経営の見通しが立たない、それに追い打ちをかける異常な物価高騰が続く。

食料自給率は低下を続け、資源の少ない日本の外交政策が試される。加えて、日本周囲の安全保障が厳しいなどと煽って、核兵器共有・軍事費増を声高に叫び、マスコミも批判しない日本。

そこには国民の声に耳を傾けない安倍傀儡岸田政権の姿がある、被爆地広島出身の岸田総理の名が泣き、広島県人として恥ずかしい限りだ。小泉内閣から続く新自由主義政策の破綻は明らかであり、もはや亡国の自公政権ではないか。

社民党への支持率が低下しているとの報道だが、選挙は終わっていない、私たちは決して諦めない（ネバーギブアップ）。

投票日まで出来ること、やれることを、悔いの残らない戦いを全力でやりきろう、各議員の死力を尽くした戦いを、共に頑張ろう！！

参議院選挙後すぐに、選挙総括を行います

各議員のからの総括文のお願いします！

幹事長 山田厚

各議員のみなさんは連日の奮闘に感謝申し上げます。

日本の戦後史の中でも最重要な参議院選挙が最終版となりました。平和への道か、戦争への道か、**日本の岐路ともいえる選挙**です。報道では「改憲議席2/3を超える」とも流されています。社会民主党の存亡はもとより、平和な暮らしという社会的な存亡もかかっています。

この選挙後には、憲法明文改悪の「国会発議」と「国民投票」も行われる可能性もあるとされています。敗けてはいられません。ギリギリ最終日まで頑張りましょう！

また、**情勢**は直線的で一方通行ではありません。確かに、右翼化と改憲と戦争への流れが強まっています。しかし、その流れの中で、「おかしい」と気がつきはじめた人々、社会民主党に期待している人々がいます。今回の地域・各県の選挙活動では、そのことが感じ取れます。

脆弱な社民党山梨県連でも、それを感じます。元自衛官だった若者が「社民党に入りたいから」として、連日、私たちの街頭宣伝と法定ビラ活動に協力してくれています。また、国労のOBや新社会党の人たちも頑張ってくれています。私たちは、この小さな動きを大切に、とにかく反自民・改憲勢力にたたかうつもりです。

したがって、この参議院選挙の**総括も極めて重要**です。それは、今後の方針にも関わるからです。

参議院選挙の総括文をお送りください

社会民主党自治体議員団全国会議では、各議員からの今回の参議院選挙で身近に体感した総括を求めます。また党員の感想や、参選挙に向けてのビラなども歓迎します。

- ・A4一枚の字数700程度
- ・第一次締め切り日は 7月22日（金）
- ・この議員マガジンで紹介します。